

資料-2

第22回平取ダム地域  
文化保全対策検討会  
令和4年3月25日

# 第22回 平取ダム地域文化保全対策検討会

## 「地域文化に係る調査・検討」について

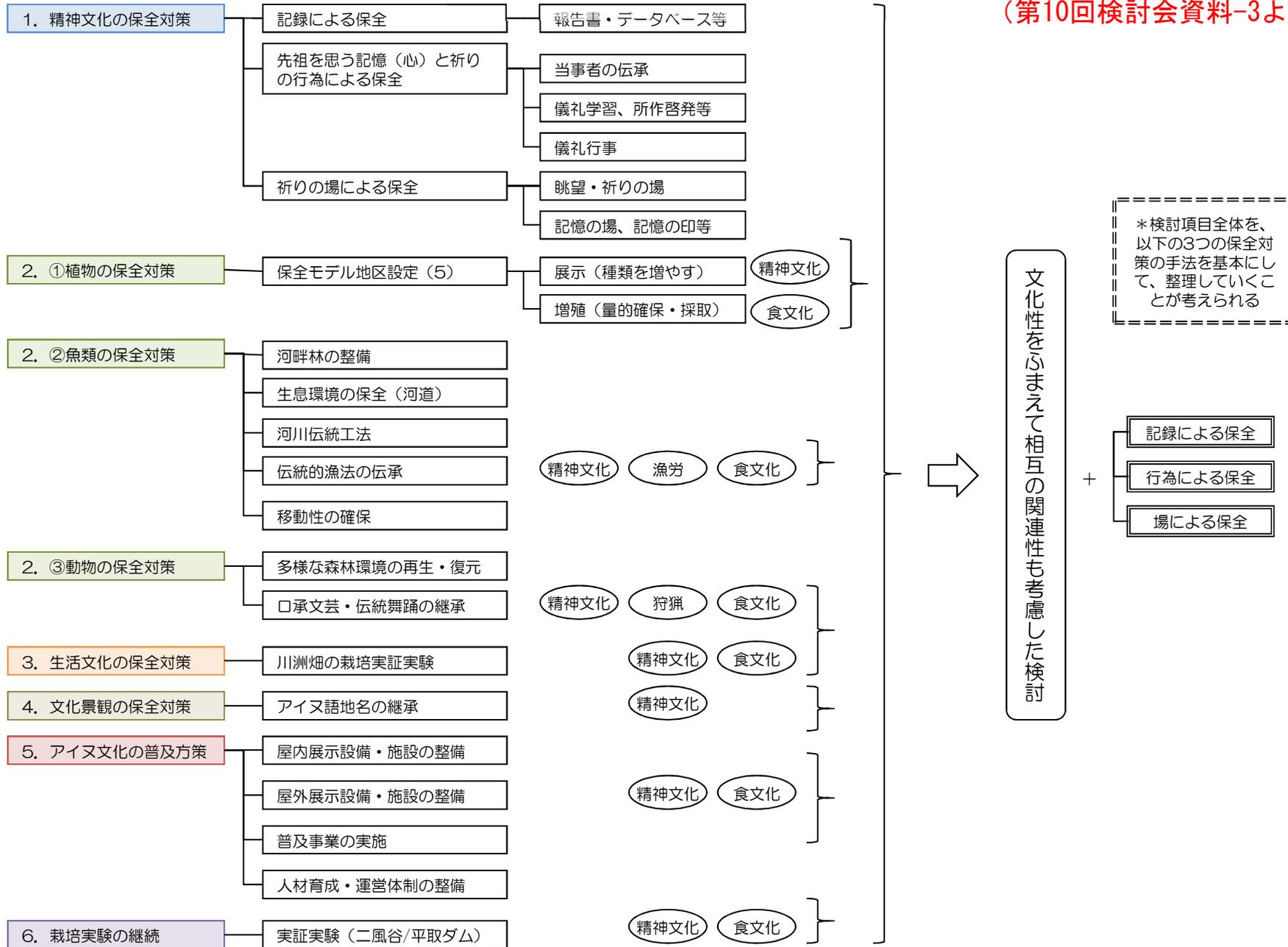
令和4年3月25日(金)



イランカラッパ  
「こんにちは」からはじめよう。

# 保全対策の実施内容

(第10回検討会資料-3より引用)



# 地域文化に係る調査・検討の流れ

アイヌ文化環境保全対策調査委員会(平取町設置)

○平成15年5月～平成18年3月

## 地域文化に係る保全対策の基本的考え方の検討 (総括報告書 2006年3月)



平取ダム地域文化保全対策検討会(室蘭開発建設部設置)

○平成18年8月～

## 1. 地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

検討項目	調査・検討・実施内容
精神文化の保全対策	・保全対象地や所作に関する情報収集、意向調査の実施 ・現地でのカムイノミの実施 ・眺望・祈りの場、フットパスの整備内容の検討 等
生物の生存環境の保全対策	・有用植物保全モデル地区の設定 ・有用植物移植後のモニタリング ・伝統漁法の試行調査 等
生活文化の保全対策	・川州畑実証試験地の設定、及び実証試験の実施
文化景観の保全対策	・アイヌ語地名データベースの構築 ・アイヌ語地名パンフレットの試作 ・橋名板の設置 等
アイヌ文化の普及方策	・屋内外展示の整備内容の検討 等
栽培実験の継続	・栽培マニュアル(案)の作成 ・二風谷地区育苗畑、有用植物保全モデル地区での栽培実験の実施

第1回  
～  
第14回



中間とりまとめ

第15回  
平成26年3月18日(火)

## 2. 地域文化に係る保全対策の具体化と実施

第16回  
平成26年9月25日(木)



平取ダム供用開始後 最終とりまとめ

## 3. 地域文化に係る保全対策のモニタリング調査の実施

# 令和3年度の試験湛水状況について



洪水時最高水位超過状況  
(令和4年2月14日)



試験湛水開始状況  
(令和3年11月24日)



洪水貯留準備水位超過状況  
(令和3年11月25日)



平常時最高水位超過状況  
(令和3年12月2日)

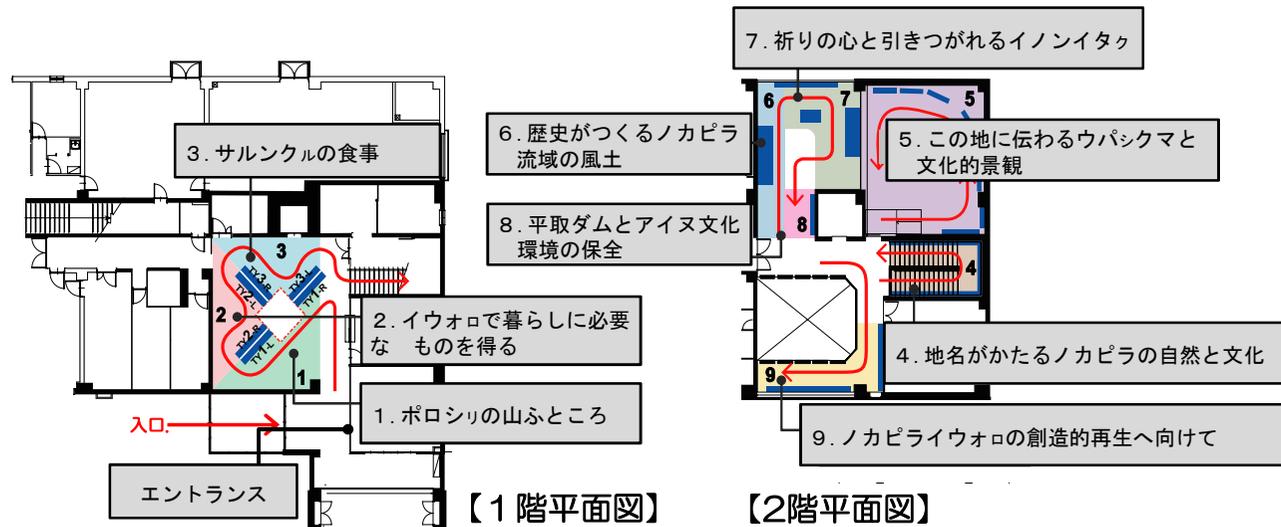


洪水時最高水位超過状況  
(令和4年2月14日)



試験湛水終了状況  
(令和4年3月14日)

# 令和3年度の工事状況について



エントランス  
(守り神のシマフクロウ)



1. ポロシリの山ふところ



2. イウオロで暮らしに必要なものを得る



3. サルンクルの食事



4. 地名がかたるノカピラの自然と文化



5. この地に伝わるウパシクマと文化的景観



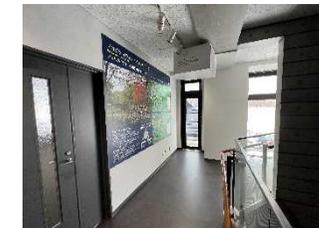
6. 歴史がつくるノカピラ流域の風土



7. 祈りの心と引きつがれるイノンイタク



8. 平取ダムとアイヌ文化環境の保全



9. ノカピライウオロの創造的再生へ向けて

## 検討項目

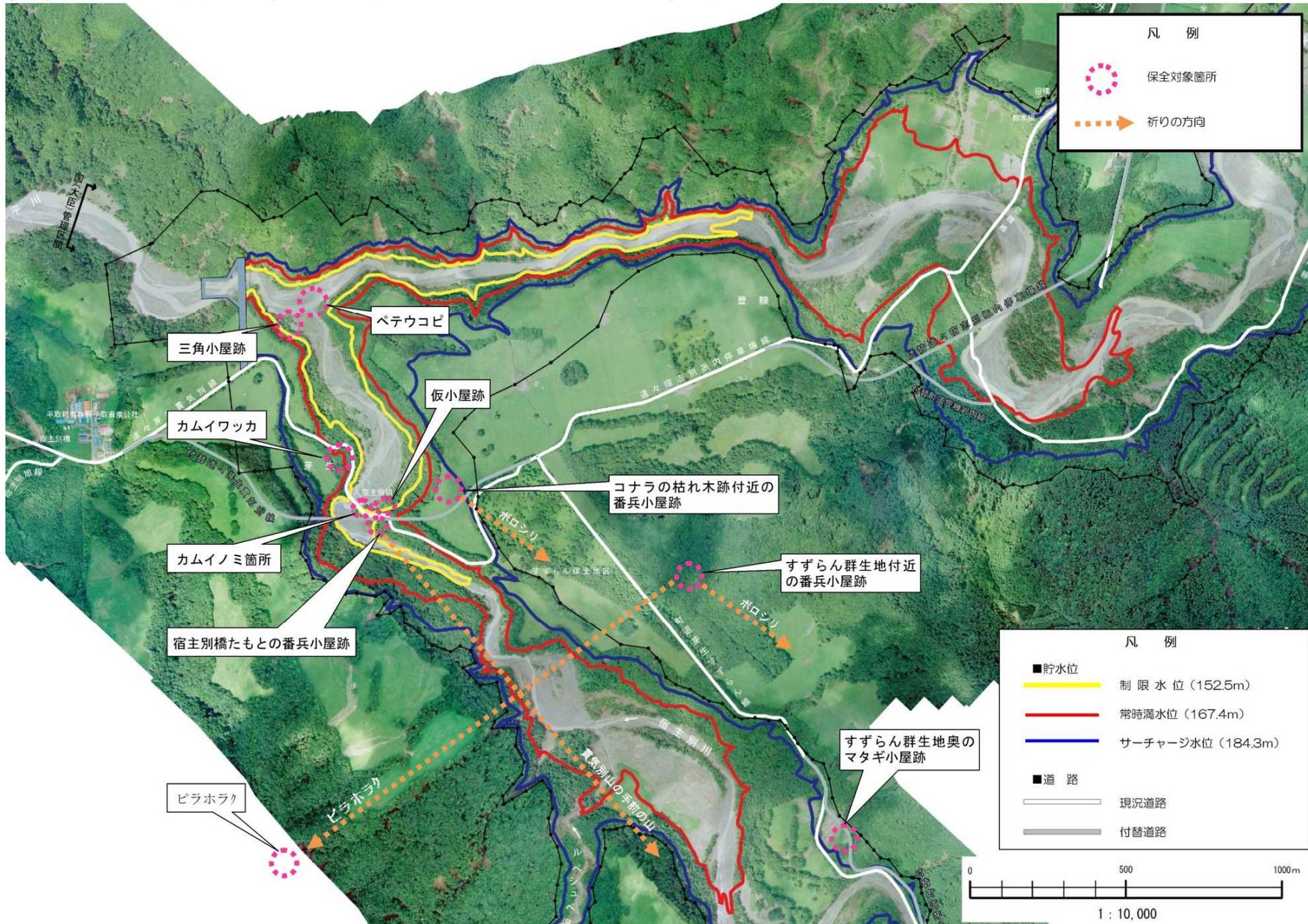
---

- 1 精神文化の保全対策
- 2 生物（植物・魚類・動物）の生存環境の保全対策
- 3 生活文化の保全対策
- 4 文化景観の保全対策
- 5 アイヌ文化の普及方策
- 6 栽培実験の継続

# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

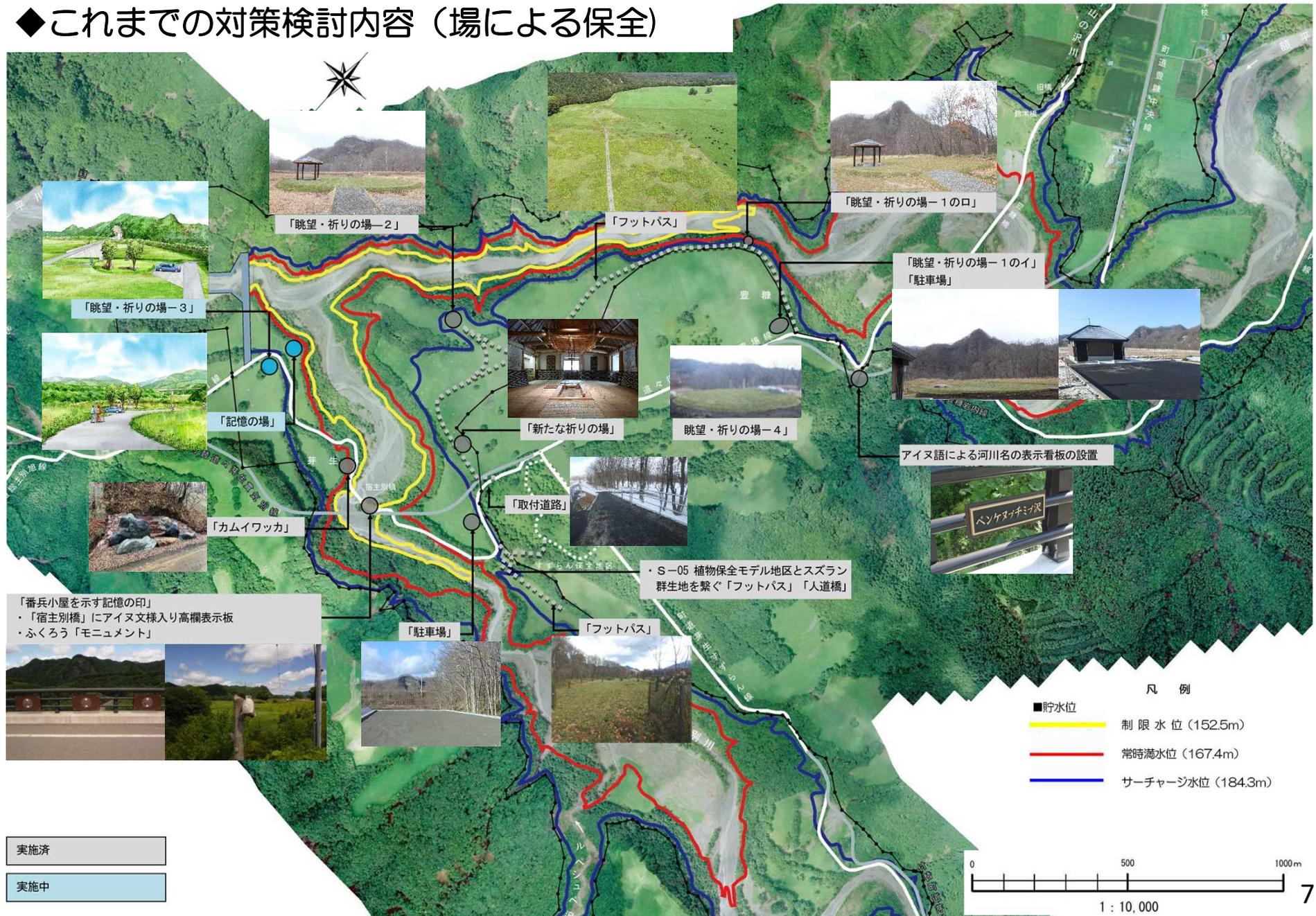
## ◆精神文化に係る保全対象位置図(平取ダム事業用地・周辺)

(第15回検討会資料-2より引用)



# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## ◆これまでの対策検討内容（場による保全）



実施済

実施中

# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## 1. 精神文化の保全対策

### ・ 祈りの場による保全

《新たな祈りの場の整備について》

- ・ 新たな祈りの場（ノカピラ アシッチセと命名）を整備。
- ・ 今後は一年を通じカムイノミ等の儀礼、伝承活動やアイヌ文化体験学習等に活用する。



ノカピラ アシッチセ  
Nokapira asir cise



カムイノミ等の儀礼の開催

# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

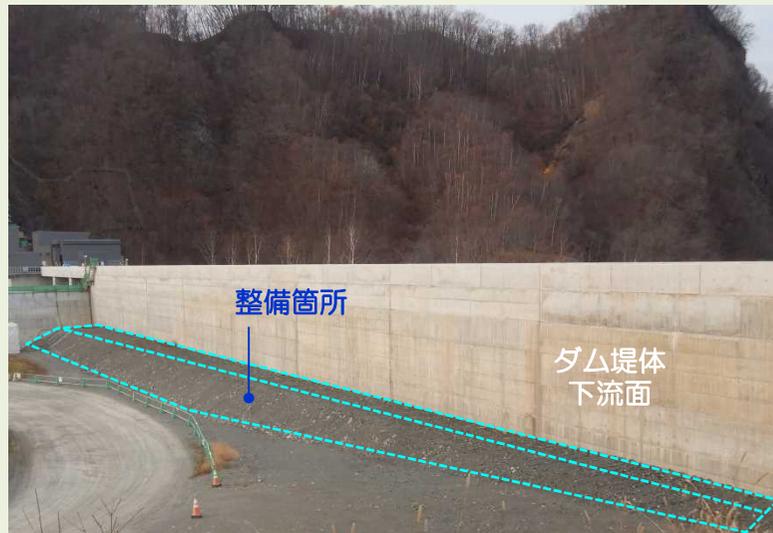
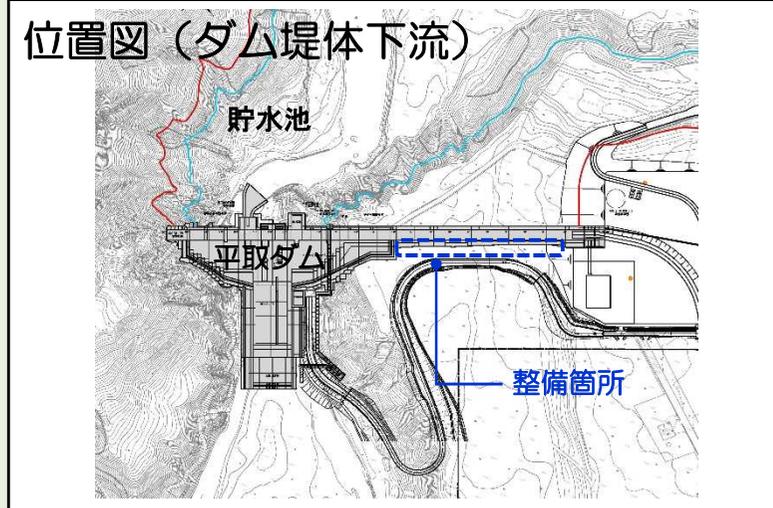
## 1. 精神文化の保全対策

### ・ 祈りの場による保全

《チノミシリの岩の活用について》

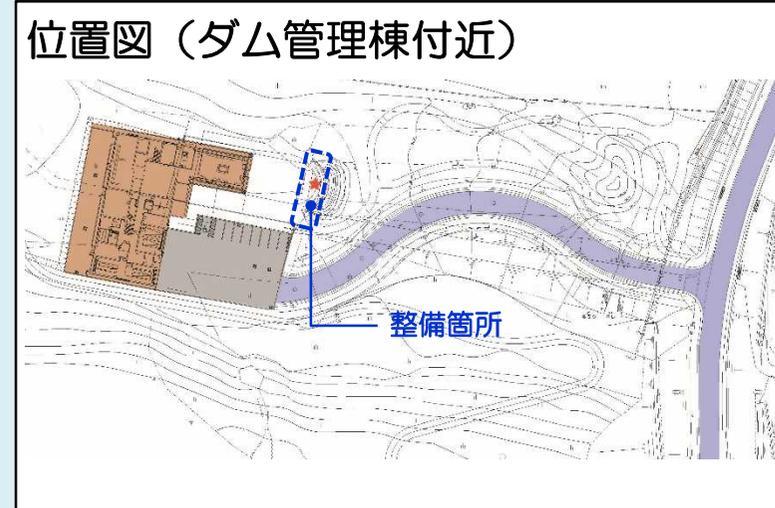
ダム堤体下流

位置図（ダム堤体下流）



ダム管理棟付近

位置図（ダム管理棟付近）

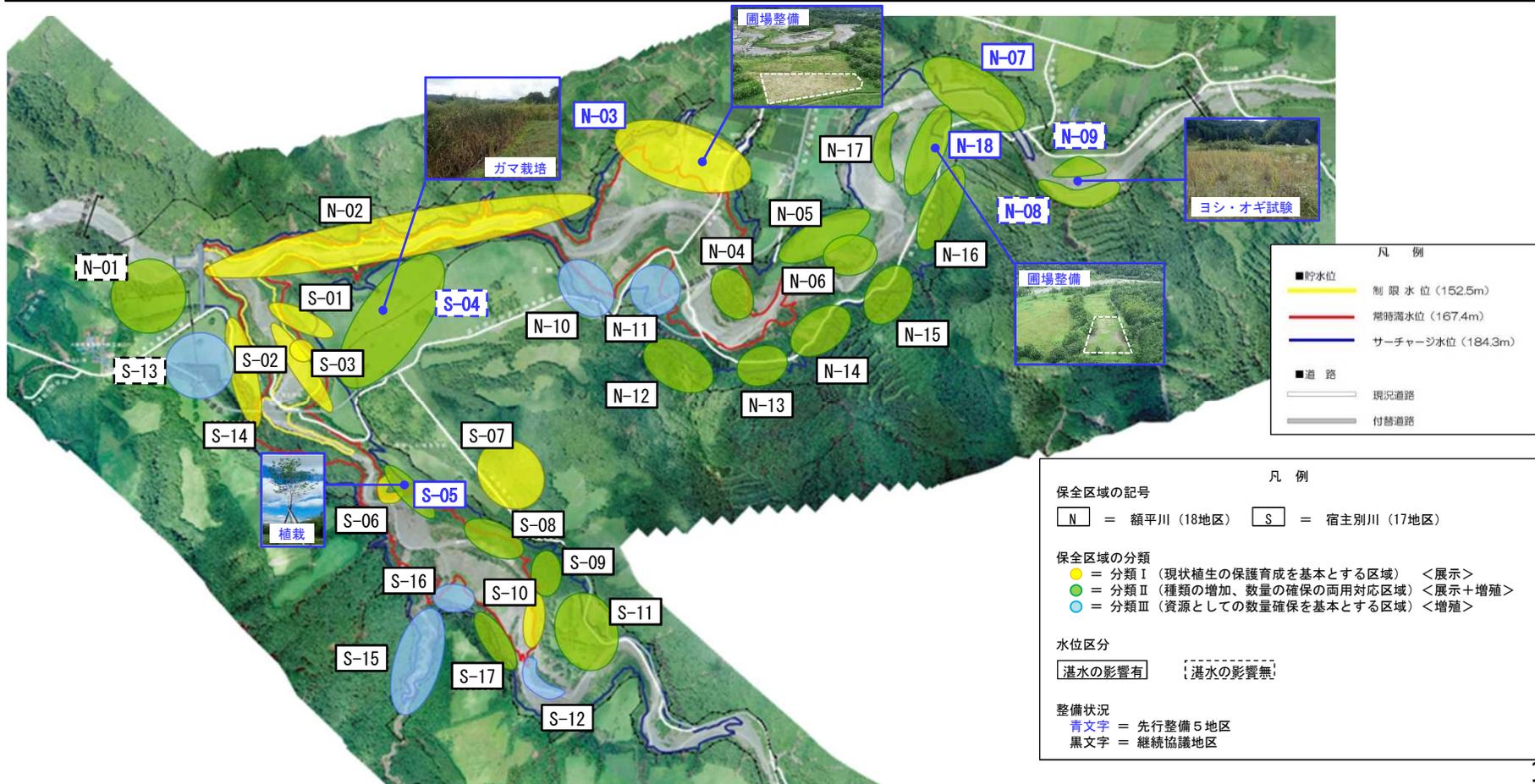


# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## 2. 生物の生存環境に係る保全対策の検討

### ・有用植物保全区の整備状況とモニタリング調査について

- 先行的に整備を実施している5地区（湛水の影響の少ない）は、圃場の整備や栽培、植栽等を実施。その他の地区は、湛水の影響や植物の再生状況等をモニタリングしながら、継続的に保全方針を協議し保全対策を進める。
- 令和3年度は試験湛水の影響を把握するため、事前モニタリング調査を実施。令和4年度に湛水後の事後調査を実施する。



# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## 2. 生物の生存環境に係る保全対策の検討

### ・有用植物保全区の今後の取組みについて

- ・ 材料としての有用性・必要性の高い主な有用植物を中心に保全・増殖の取組みを実施。

植物名	主な用途	対象保全区	これまでの保全対策と今後の取組み
シキナ（ガマ）	トマ（ござ） カロフ（火打ち用具入れ） エニヌイベ（枕）	S-04	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湿地を造成しガマの増殖試験を実施。</li> <li>・ 今後も、刈取り管理や補植を行い、持続的な供給地として活用する。</li> </ul>
		N-03	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湿地形成を目指し、造成工事を実施。</li> <li>・ 今後は、播種や苗植え等の半栽培により持続的な供給地として活用する。</li> </ul>
		N-04～N06	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 播種・苗植えによる増殖試験を実施。</li> <li>・ 今後は、流水や冠水により形成される自然環境に応じた水生植物の生育を促す。</li> </ul>
		N-18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湿地形成を目指し造成工事を実施。</li> <li>・ 今後は、播種や苗植え等の半栽培により持続的な供給地として活用する。</li> </ul>
スプキ （ヨシ・オギ）	チセの屋根材・壁材	N-08・N-09	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヨシ・オギの増殖試験を実施。</li> <li>・ 今後も既存のヨシ群落が自然に拡大するよう、刈取りや補植等の管理や検討を継続し、素材の供給地として活用する。</li> </ul>
		S-10 ほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自生地の回復状況のモニタリング調査を行い、素材供給地として活用する。</li> </ul>
アッニ （オヒョウ）	アットウシアミフ（着物） アットウシクツ（帯） カロフ（火打ち用具入れ）	S-05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗木植栽や移植により半栽培を継続的に実施。</li> <li>・ 今後も増殖と管理を継続し素材供給地として活用する。</li> </ul>
		S-04	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植栽（生態学的混播混植法）を実施。</li> <li>・ 今後もモニタリング調査を行い、素材供給地の形成を目指す。</li> </ul>
		S-11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移植および植栽（生態学的混播混植法）を実施。</li> <li>・ 今後もモニタリング調査を行い、素材供給地の形成を目指す。</li> </ul>
チクペニ （イヌエンジュ）	チセコロカムイ（家の守護神）	S-05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗木植栽や移植により半栽培を継続的に実施。</li> <li>・ 今後も増殖と管理を継続し素材供給地として活用する。</li> </ul>
その他の有用植物 チキサニ（ハルニシ）、ピンニ（ヤチダモ）、プンカウ（ハシドイ）など		N-02・N-07 S-01～03・08～12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湛水の影響を受けない範囲は、現状の保全を基本とし、必要に応じ下草刈り等を行う。</li> <li>・ 湛水範囲内は、土砂の堆積状況や植物の再生状況のモニタリング調査を行い、保全方法について継続的に検討を進める。</li> </ul>
		N-01・N-10～17 S-06～07・13～17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事実施箇所および湛水の影響を受ける範囲について、自然回復状況や植生の変化を継続的にモニタリング調査を行い、必要に応じて補植等の対策を行う。</li> </ul>

# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## 5. アイヌ文化の普及方策

### ・ダム供用開始後におけるデータの活用方針について

蓄積されたデータの活用方針

- ・ 保全対策の取組みについてホームページや資料室を活用した紹介
- ・ 保全対策の取組みおよび蓄積したデータを紹介するパンフレット作成など、積極的な広報活動の展開
- ・ データベースをもとにした体験ツアーガイドブックの作成など、文化普及活動へのより一層の有効活用
- ・ 保全対策に係る調査の継続と蓄積によるデータベースの充実



子供向け解説パンフレットの作成（イメージ）



保全対策の取組みに関するパンフレットの作成



体験プログラムの実施

# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## その他の各保全対策の実施状況

### 1. 精神文化の保全対策

- 先祖を思う記憶（心）と祈りの行為による保全
  - 伝統的漁法や川洲畑の実証試験に伴う儀礼行事の実施



川洲畑の儀礼 (2021/5/20)



アベツ川さけ特別採捕獲の儀礼 (2021/10/13)

### 2. ①植物の保全対策

- 保全モデル地区設定
  - 工事箇所における有用植物の調査・移植後のモニタリングを実施



工事着手前の植物調査 (2021/8/13)



植物のモニタリング (2021/9/1)

# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## 2. ②魚類の保全対策

- 伝統的漁法の伝承
  - 伝統漁法の漁具や漁法の再現



漁具作製 (2021/10/6)



伝統的漁法の再現 (2021/10/13)

## 2. ③動物の保全対策

- 多様な森林環境の再生・復元
  - 多様な森林環境を再生・復元し、生息環境の調査を実施



自動撮影カメラ（トレカム）設置  
(2021/4/15)



撮影動物（トレカム画像）  
(2021/10/19)

- 口承文芸の継承

- 沙流川流域で継承されている口承文芸等の動物に係る内容を抽出し整理



データベース更新

# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## 3. 生活文化の保全対策

- 川洲畑の栽培実証実験
  - 川洲畑再現マニュアルに基づく、川洲畑実証試験の実施



紫雲古津試験畑播種体験  
(2021/5/20)



宿主別川試験畑収穫体験  
(2021/9/16)

## 4. 文化景観の保全対策

- アイヌ語地名の継承
  - 額平川流域のアイヌ語地名などを紹介するパンフレットを活用した体験学習の実施



アイヌ語地名マップ、データベース更新



アイヌ語地名学習会 (2021/10/26)

# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## 5. アイヌ文化の普及方策

- 人材育成・運営体制の整備
  - アイヌ文化体験プログラム(案)を用いて小学生を対象とした体験学習を実施



アイヌ文化体験プログラム試行（貫気別小）  
(2021/5/25)



アイヌ文化普及活動（教育委員会と連携）  
(2021/6/27)

## 6. 栽培実験の継続

- 実証実験
  - 植物栽培マニュアルに基づき、有用植物の移植試験及び播種栽培試験の実施



種子採取  
(2021/6/9)



苗木づくり  
(2021/9/7)

# 令和3年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

## 地域文化保全対策の今後の進め方

### ・ダム供用開始後における調査・モニタリング（案）について

#### 精神文化の 保全対策

- ・保全対策に係るモニタリング調査を行い、データベースを継続的に蓄積していく
- ・フットパスや眺望・祈りの場を活用したアイヌ文化体験学習などを実施していく



カムイノミ等の儀礼

#### 生物（植物）の 生存環境の保全対策

- ・工事個所の植生回復や移植樹の生育状況を継続的にモニタリングしていく
- ・有用植物の半栽培を継続するとともに、展示（標本林）への利用を展開していく
- ・栽培した有用植物を利用し、材料活用（道具加工）の取組みを継続していく
- ・植物保全区について試験湛水等の影響をモニタリングし、保全・整備について継続的に実施していく



植物のモニタリング

#### 生物（魚類・動物）の 生存環境の保全対策

- ・関係機関との調整を図りつつ伝統的漁法の再現等の取組みを継続していく
- ・関係機関と連携し、沙流川流域全体での魚類生息環境の保全を継続する
- ・定点カメラによる動物の種類や個体数、行動の記録を継続する



伝統的漁法の再現

#### 生活文化の 保全対策

- ・川洲畑試験の取組みを継続する
- ・食文化レシピ集や川洲畑再現マニュアルの継続的な更新を進めていく
- ・川洲畑実証実験や収穫物を利用した食文化の試行を、体験学習やエコツアーと合わせて継続的に実施していく



食文化試行

#### 文化景観の 保全対策

- ・沙流川流域全体のアイヌ語地名データベースの継続的な更新を進めていく
- ・アイヌ語地名データベースを活かした広報資料作成（パンフレット等）に取り組む
- ・アイヌ語地名看板の整備を継続していく



アイヌ語地名マップ  
データベース更新

#### アイヌ文化 普及方策

- ・地域文化の調査を継続すると共に活動を紹介するリーフレットを更新していく
- ・教育委員会と連携し、蓄積した調査結果を活用した授業を実施していく
- ・体験プログラム実施の担い手の人材育成に引き続き取り組んでいく
- ・新たに整備された展示施設を活用し、体験プログラムや文化紹介に取り組む



アイヌ文化体験  
プログラム試行

#### 栽培実験の継続

- ・育苗畑や有用植物保全モデル地区を体験プログラム等に活用しながら、材料採取の栽培実験に取り組んでいく



苗木づくり